



▲ 102回のお田植えまつり

悠紀ゆき

六ツ美南部学区広報誌

第47号

平成30年 2月 15日

六ツ美南部学区社会教育委員会発行

六ツ美南部学区環境整備

六ツ美南部学区総代会長 小谷外志男

新しい年を迎え、学区民の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。また、日頃は六ツ美南部学区行政の推進にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も六ツ美南部学区環境整備要望として、年度当初に、井手瀬市議、杉浦市議と共に十五町全総代で六十七件の環境整備要望を内田市長に直接手渡しました。現在、学区の要望を受け旧四十三号線の側溝全面補修や、四十三号線の通学路の防犯灯の設置等、多くの環境整備が進められており、年度末には数多くの要望が実現されていると思います。

また、昨年度から総代会の諮問機関として「まちづくり協議会」が毎月一回検討会を実施されています。その一つとして来年度には六ツ美南部学区の皆様には防犯冊子が届けられる予定です。
今後各町の要望に対して総代会全力で対応してまいります。



▲内田市長と六ツ美南部学区総代

世代間交流

岡崎市立六ツ美南部小学校長 大西 和夫

日頃は、本校の子どもたちを温かく見守っていただき感謝申し上げます。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。
本校の児童は、お田植えまつりや夏祭り、お米作り等、さまざまな機会をおして地域の皆さんからご尽力をいただき、学ばせていただいております。そんな中から、今回は、四年生が行っている世代間交流について紹介させていただきます。

世代間交流は、毎年四年生の児童と福祉委員会、主に悠悠クラブの皆さんと、総合的な学習の時間を使って実施しています。また、十月に、福祉委員会の皆さんから委員会の活動についてパワーポイントを使って説明をしていただきました。そして、学級ごとに、十二月、二月にわたって、悠悠クラブの皆さんと交流をします。場所は、市民ホームの集会室を使い、3B体操や簡単なエクササイズ、歌のプレゼントを行います。

集会室は、終始、クラブの皆さんや子供たちの笑顔、歓声で熱気に包まれています。子供たちにとっては、ちょうど自分たちの祖父母にあたるぐらいのご年齢でしょうか。たくさん素敵な笑顔が、こちらの心をほんわかと温かなものにしてくれます。世代の異なる皆さんと接することによって子供たちは、たくさん学ぶことができました。



▲4年生との世代間交流

一年を振り返って

学区社会教育委員会副委員長 長尾 敏志

学区の皆様には、日頃より社教委の行事活動に深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。各団体の皆様のご尽力により、年間行事が滞りなく開催することができました。学区の皆様との絆を深め、明るい地域づくりに寄与できたと思います。各委員、参加頂いた学区の皆様にお礼申し上げます。

総代会の代表理事として、社教副委員長を任せ、何もわからないままでのスタートでしたが、平井委員長、並び各団体委員の協力を頂きながらの進行で、大変充実した一年となりました。

さて、活動行事の中でも、「六ツ南ふれあい夏祭り」が昨年より会場が悠紀の里に変更しました。また、本年度より夏祭り実行委員会を創設し、実行委員会役員にて素案作りを進めてきました。夏まつり開催のアピールをし、多くの企業・個人からの協力をいただくことができました。開催当日も、非常に天候に恵まれ昨年以上の方々の参加があり、大変好評なうちに閉幕することができました。

次年度も、学区諸団体がそれぞれに企画・運営を予定しております。社会教育委員会活動へのご協力と、多くの方々のご参加をお願い致します。



▲悠紀の里でのふれあい夏祭り (7月)

地域の皆様へ感謝

六ツ南小PTA会長 嶋田 乙聡

日頃から六南小PTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度のPTA活動も終盤になり、行事も数えるほどとなりましたが、役員一同、最後まで子供たちのために活動してまいります。

さて、百年以上の歴史をもつ六南小における宝は、地域の皆様との繋がりだと思います。子供たちの登下校を温かく見守ってください。バザーではたくさんの寄贈品を提供していただいたりしています。休日には学区内で行動する子供たちに声をかけていただいています。そして、各イベントでは子供たちとの交流を楽しんでくださっています。三百六十五日、地域の皆様に子供たちが守られていること、地域の皆様には大変助けられていると保護者一同ただただ感謝申し上げます。

今後も地域、学校、保護者の連携のもと、六南小の子供たちを見守ってくださいますよう、よろしくお願い致します。



▲PTA 寄贈品バザー (10月)

子ども会活動を振り返って

子ども会会長 吉田 隆司

日頃は、六ツ美南部学区の皆様には子ども会活動へのご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

球技大会では、OBの方々をはじめ関係者の皆様の協力もあり盛大に大会を行うことができました。会長になり初めて我が子が球技大会へ参加し、今まで興味が強かったスポーツを通じて、様々な経験をすることができました。子供たちが一生懸命にボールを追いかける姿には感動しました。

こどもまつりでは、今年度初めて行ったデコスイーツで、子供たちの楽しむ姿や喜ぶ声を聞く事ができました。

これから、子供たちの笑顔が見られる活動を続けていけるように力添えをしていきたく思います。ご理解とご協力をよろしくお願致します。



▲学区こどもまつり工作コーナー (11月)

全事業で増員の一年

学区体育委員会委員長 足立 正博

皆様には、日頃より体育事業に対し、ご理解とお力添えを賜り、厚くお礼申し上げます。

西年・成年の年度に相応しく、文末で挙げる体育事業五種において、参加チーム数や参加者数の増員となりました。携わった身として光榮に思うしだいで。今後も体育事業にご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

本年度各種体育事業結果など(上位のみ)

第三十一回ソフトミニバレーボール大会

・通常リーグ①上側A②小園③八幡④新町

・親睦リーグ①本町 ②定国町

第四十三回ソフトボール大会

・通常リーグ①小園A

②上側A③正名二軒屋A

・親睦リーグ①境

②八幡B③上側B

第四十四回ファミリー体育祭

育祭

・大規模町内会①八幡

・中規模町内会①新町

・小規模町内会①本町

(総合優勝)

第二回六ツ美中部・南部

学区ベタンク交流会開催

第二十二回ファミリーグ

ラウンドゴルフ大会



▲ベタンク交流会 (11月)

PTA活動をきっかけに

六ツ美中学校PTA会長 野口 英紀

中学校PTA

Aの活動の一

つに、保護者

の方と一緒に

行う夏の奉仕

活動がありま

す。保護者参

加になつて、

まだ二年目の

ため、認知度

が低く、全員

参加までには

まだまだの状

況にあります。

PTA地区委員から奉仕活動の場

所や清掃方法の相談の際に一緒に考えていた

きながら、保護者の皆さんや他の団体の方にも奉

仕活動の取り組みが広がることを期待していま

す。来年度の夏も奉仕活動を予定していますので、

是非ご参加いただきますようお願い致します。

また、学校の活動・行事で中学校へ来ていた

だくことから、子供たちへの声掛け・応援を通

じ、保護者同士が顔見知りとなるなど、人との

つながりを通じ、地域活動への参加のきっかけ

になると大変嬉しいです。

学区の活動に参加してみると気付くことも多

くあります。積極的な参加を期待しています。



▲親子奉仕活動 (8月)

女性部の活動を振り返って

学区女性部部长 杉浦千鶴子

学区の皆様には、女性部の活動にご協力とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

女性部の活動は、六月の悠紀齋田お田植えまつりをはじめとし、七月の六ツ美ふれあい夏まつり受付係、九月には学区敬老会お汁粉づくりをさせていただきました。十月の悠紀齋田収穫祭では、希望された方々と共に稲刈り、脱穀を行いました。この催しは子供連れのご家族に、貴重な体験ができたこと好評でした。

いずれの行事も振り返ってみれば、地域の皆様方とのつながりとご協力で成り立っていると感じられ、あらためて感謝しております。ありがとうございました。

女性部として活動をしていたり、多くの方々に協力していただくあり

がたさを実感いたしました。

今後とも地域発展のため、学区の皆様と一体となり活動していきたいと思いま

す。



▲悠紀齋田お田植えまつり女性部 (6月)

備えあれば憂いなし

婦人自主防災クラブ会長 高橋百合子

災害時に「生き残る、自力で対処できる」ようにするためには、個人・世帯単位での災害への備えが必要となります。こうした自助の大切さを広めるため、各町防災訓練では、レジ袋を使った腕の固定や、アルミ缶で作ったコンロでゆで卵を作る実演など、身近にあるものを使用した訓練を行いました。また、クラブ員としての知識を習得するため、炊き出し訓練や、心肺蘇生、AED、三角巾の講習会を消防署・青野出張所に行き、年数回受講したり、昨年度から始めた避難所運営ゲーム(HUG)を実施したりしました。クラブ員の任期は二年で終了してしまいますが、得た知識はいざという時に役立てられればと思います。

今年度も学区の皆様にご協力いただき、無事に活動することができました。ありがとうございます。



▲学区ファミリー体育祭へ参加する婦人自主防災メンバー

六ツ南ふれあい夏祭り

夏祭り実行委員会委員長 早川 信行

学区の皆様には、日頃より夏祭り実行委員会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度より、各種団体から多くのご意見やご提案により、ふれあい夏祭りについて、きめ細かな配慮をした行事内容となるよう、実行委員会の組織団体を立ち上げました。

今年度は、六ツ南ふれあい夏祭りに協賛企業を募り、多大なるご支援・ご厚情を賜りました。ここで、実現できた主な企画や演出について一部ご報告いたします。

- ・ 会場に掲示する看板を用意できました。
- ・ 暑さをしのぐための団扇を用意できました。
- ・ 打ち上げ花火の量が五割増となった。
- ・ フォトコンテスト(さらなる思い出づくりの機会)を開催できた。
- ・ 浴衣を着て来場する方へ、着付けサービスを提供できた。

盆踊りの練習から、その後のフォトコンテストの開催まで、一日の催し物にとどまらないイベントになりました。これからも夏祭りがこの地域の夏の風物詩となるように、新たな企画に取り組み、益々パワーアップさせていきたいと思っております。引き続きご支援・ご厚情のほど、よろしくお願いたします。

本会の活動につきましては、夏祭り実行委員会のホームページにて随時情報発信をしていきますのでご覧ください。



▲2017年ふれあい夏祭り(7月)

民生児童委員として

主任児童委員 榎原百合子

私も主任児童委員は、民生児童委員の一員であり、六ツ美南部学区は二名が活動しております。学校の行事等の参観や、補導・訪問などの見守り、子育て中のお父さん、お母さんたちのお手伝い等を行っております。

子育て支援の活動としては、市民ホームをお借りして、「いちご広場」という会を催しております。子育て中のお母さんと子供たちと一緒に体操をしたり、工作をしたりして楽しく活動しております。お母さんたちが笑顔を見せて下さると、私たちも笑顔をいただき、元気になります。とても、やりがいを感じます。

子供はいくつになっても、親からは子供です。悩み事もきりがありません。そんなときは一人で抱えこまずに、誰でもいいので話しましょう。民生児童委員もお力添えになればと願っております。これからもよろしくお願申し上げます。



▲いちご広場「ハンドベル」(11月)

父母の会活動を振り返って

六ツ美南保育園父母の会会長 杉浦 淳子

私たち父母の会は、四月より十四名の役員で、協力し合い、活動をしてまいりました。誕生日会、資源回収、園行事のプレゼントの購入や包装、バザー、運動会など、思ったよりも大変でしたが、役員全員で助け合って活動することができました。

役員になった事で触れる事のなかった学区行事へも参加することができました。夏まつりや、ファミリー体育祭、こどもまつりなど、裏方の皆さんの苦勞も垣間見ることができ、学ぶ事がたくさんありました。会長になった時は、不安でいっぱいでご迷惑をおかけしたこともありましたが、父母の会役員の方や園長先生をはじめ、保護者の皆様のご協力や園児たちの喜ぶ姿が力となりがんばることができました。本当にありがとうございました。これからも感謝の気持ちで務めていきたいと思えます。



▲六ツ美南保育園父母の会役員メンバー

充実した一年

中島保育園父母の会会長 西川 大美

二十九年度は、十八名の役員で活動を行っています。父母の会の主な活動内容は、保育園の行事と、社会教育委員会主催の地域行事に参加をさせていただくことです。

特に印象に残っている行事は、盆踊りで参加をした八月のふれあい夏祭りです。実行委員の方より、「是非、浴衣で！」というリクエストをいただき、役員の協力により親子で浴衣を着て踊る素敵な体験をさせていただきました。また、普段とは違う装いに、大はしゃぎをする子供たちの嬉しそうな姿も忘れられません。子育て・家事・仕事に追われる毎日に私で会長業務が務まるか大変心配でしたが、周りの方々の支えに恵まれ、新しい出会いや体験をさせていただき、内容の濃い充実した一年となりました。これも父母の会の活動にご協力をいただいた先生方、地域の皆様、家族、そして役員全員のお陰です。本当にありがとうございました。



▲ふれあい夏祭りに参加した父母の会役員とその子供たち

いづもたちとのふれあい

六南睦会連合会会長 鈴木 隼司

六ツ美南部学区の皆様には、日頃より、六南睦会連合会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

六南睦会連合会の活動は、大きく分けて三つ、単位クラブの活動、市老連の事業参加、学区の社会教育委員会活動への参加があります。

五月、六ツ美南部小学校見守り活動をスタートに、六月、悠紀斎田お田植えまつり、あおみ野運動広場草取り。七月、六ツ南ふれあい夏まつり。八月、小学校校内校庭草取り奉仕活動。九月、学区敬老会。十月、六南かるたウォーキング。十一月、こどもまつり(昔遊び伝承種目)。小学五年生全員への縄ない指導。十二月、学区市民ホーム年末大掃除。四年生との世代間交流等々。活動はたくさんあります。健康講座、高齢者教室なども実施しております。是非多くの皆様の参加を願っております。



▲小学生との縄ないの会 (12月)

知って参加して楽しむ福祉

六ツ美南部学区福祉委員長 鈴木 喜信

学区福祉委員会は平成十二年に発足以来、歴
代委員の方々のご努力で今では市内有数の活動
を進めており、昨年は愛知県社会福祉協議会の
会長表彰を受賞しました。

現在の活動は、悠悠クラブではリズム(3B)
体操、小学生との世代間交流、健康講座等。い
きいき教室ではコーラス、軽体操、手話。福祉
サロンは折り紙、手芸を楽しみ悠紀の里に展示。
季節のウォーキング。昨年はグラウンドゴルフ
も発足しました。また、学区で行う各種イベン
トへの参加等、高齢者の方々が楽しめる活動も
積極的に進め、地域の皆様が気に入った活動に
参加できるよう工夫しております。

また、委員の活動も一人暮らしや二人暮らしの
高齢者宅へ
の激励訪問
や、友愛訪
問等の見守
り活動も民
生委員の協
力を得て推
進していま
す。
高齢者の
方の多くの
参加をお待
ちしており
ます。



▲小学生との世代間交流

六南学区と商工会

岡崎市六ツ美商工会副会長 中根 敏勝

日頃は、商工
会事業に対し格
別のご理解ご協
力を賜り厚く御
礼申し上げます。
第三十三回六ツ
美商工まつり
(四月二十三日
開催)は晴天の
中、南部小学校
の音楽部、バト
ン部の皆様の演
奏で始まり、多くの方々にご来場頂き盛大に開
催されました。



▲第33回六ツ美商工まつりオープニング(4月)

商工会は、地域経済の健全な発展と活性化を
目的に、地域との連携を考えています。南部学
区においては衣浦岡崎線を挟んで悠紀の里交流
館側の農業専用地域と反対側の住宅専用地域が
あります。伝統文化と農業的景観を守る必要
と、学区や周辺他地域からの消費購買力を高め
る商業集積を誘導できる商業基盤整備の必要
性を感じます。併せて、中島地区既存商店街の再
開発、活性化と回遊型の商業地域の形成等を視
野に、岡崎市に農業専用地域の一部用途変更を
要望しています。
六ツ美商工会は地域と農商工の連携がさらなる
地域の発展に繋がるよう推進してまいりま
す。今後もご協力よろしくお願ひ申し上げます。

消防団活動

六ツ美消防団第三部部长 高橋 和之

学区の皆様には日頃より消防団活動にご理解
とご協力を賜り深く感謝申し上げます。
消防団は、本業をもちながら学区の皆様が安
心して暮らせる街づくりを努めております。消
防・防災に関する知識や技術を習得し、災害発
生時における消火活動や救助活動・避難誘導な
ど皆様の生命と財産を守っています。また、平
常時においても各種訓練、応急手当、広報活動
なども実施しております。今年も四年毎に行わ
れる消防技術発表会にも参加しました。約一か
月間、朝早くから練習をして、大会では日頃の
練習の成果を存分に発揮でき見事優勝しました。

さて、昨年七月地震で大きな被害を受けた熊
本をはじめ、九州北部で集中豪雨があり多くの
被害や尊い命が失われました。また、今後南海
トラフ大地震が危惧されるように、いつ災害が
起こるか分かりません。皆、危機感をもって活
動をしていきます。
これからも地域
の安心・安全を守
り、防災代表とし
て日々努力し、団
員一丸となって活
動をしていきま
す。今後ともどう
ぞよろしくお願ひ
します。



▲六ツ美第3部消防団員

広めたいニユースポーツ

スポーツ推進委員 横井 利幸

学区の皆様には岡崎市スポーツ事業や六ツ美ブロック地区体育行事に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

学区市民とスポーツを通じて市民の体力及び競技力の向上を図り、スポーツの振興を図る目的でスポーツ推進委員の活動を行っています。

その活動として、六ツ美地区四学区合同によるファミリーバドミントン講習会を企画し、ニユースポーツを広めようとしています。

このファミリーバドミントンは、「子どもから高齢者までが、いつでも、いつまでも、そして何より気軽に楽しめるスポーツを……」という声を受けて、ルールや用具をアレンジして手軽にバドミントンを親しめる独自のニユースポーツとして考案されました。岡崎市では道具の貸し出しがありますので機会があれば経験してみたいかでしょうか。

他のニユースポーツには、ペタンクやキンボール、ドッチビーなどいろいろな種目があり体験してみたいと思います。

各町内がスポーツを通じ、学区民が楽しく健康で生活が送れるように頑張っていますので、今後も協力をお願いします。



▲ファミリーバドミントン用具

健康おかげさき21計画のPR

健康推進員 腰山 祥子

「健康推進委員って何？」社教委員でありながらその役割があまり伝わっていません。今年度、今年度は学区の皆様、健康推進委員の活動をPRすることから始めたいと、学区行事に積極的に参加してまいりました。



▲健康な生活を啓発する推進委員

そこで、岡崎市が目指している「健康やかで心豊かなまち おかげさき」の健康推進活動を展開してきました。野菜摂取量ワースト1の岡崎市の改善PRや、熱中症予防の啓発、受動喫煙防止対策の推進、二人に一人が思うと言われるガン検診の啓発などを呼びかけました。

また、「すべての市民の健康寿命が延びること」を目的に、スマートウェルネス社会を目指す岡崎市の研修では、災害発生時の避難所での保健活動や声かけ活動の訓練を行いました。学区敬老会でもロコモ（運動器症候群）予防のチラシを配り、いつまでも自分の足で歩き健康な生活が保てるよう呼びかけました。

今後も皆様、健康意識を高めることができるように推進して参りますのでよろしくお願致します。

今年十七年を迎えます

あおみ野運動広場運営委員会事務長 武山 隆俊

六南あおみ野運動広場が、岡崎市内の学区運動広場として平成十三年四月に完成して今年で十七年となります。市内の運動場は中総をはじめ現在三十五施設があり、当施設のように学区で管理運営をしている施設は、開設三十七年を迎える岩津をはじめ九施設があります。

六ツ美四学区では南部学区のみで、他の三学区は美矢井橋河川敷の運動広場を利用しています。しかし、利用申し込みは市のスポーツ振興課で予約受付や抽選といった手続きが必要です。その点、学区で管理運営を任されている学区運動広場を持つ南部学区は大変ありがたいです。

今年も凍結防止のための塩化カルシウムを散布されて、早朝からの利用のグラウンドゴルフをはじめ、各種利用団体から喜んでいただいております。



▲岡崎市スポーツ施設ガイドブック

さらに、昨年から要望をしておりますトイレの水洗化が実現することを願っております。今後も、学区の運動広場をより便利に活用して頂けるよう管理をしていきたいと思っております。

同窓会からのお知らせ

六ツ美南部小学校同窓会会長 早川 信行

学区の皆様には、日頃より小学校同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度は悠紀の里で行われた収穫祭とタイアップした形で、出発点を従来の小学校運動場から、悠紀の里に移し、「六ツ南かるたウォーキング」を実施いたしました。

当日はあいにくの雨模様にもかかわらず、前回以上に多くの皆様のご参加をいただき、一部コースの変更はありましたが、六ツ南かるたに関連のある地を歩いて訪ねることができました。ふるさとを知り、地域の絆を深めることを目指しております。今後も、お子さんやお孫さんと一緒にご参加ください。

●同窓会入会式のご案内

・日時 平成三十年三月九日(金) 午後二時
・場所 六ツ美南部小学校校体育館

●記念講演

(午後二時三十分開始予定)
・演題「QRコードのあらましとその応用」



▲講演者：柴田 彰 氏

●講師略歴

- ・昭和35年 六ツ美南部小学校卒業
 - ・昭和38年 六ツ美中学校卒業
 - ・昭和46年 大阪工業大学電子工学科卒業
 - ・ 日本電装株式会社入社
 - ・ 平成23年 自動認識コンサルタント設立
 - ・ 平成29年 工業標準化事業 内閣総理大臣賞受賞
- *貴重なお話を聞き取ることができると思いますが、ぜひ、多くの学区の皆様にもご来場いただければ幸いです。

注意一秒 怪我一生

交通指導員班長 加藤日出雄

近年、運転中にスマホの画面を見たり、操作をしたり、運転をしたりするドライバーが増え、それらが原因による脇見運転や漫然運転等の事故が急増しています。

記憶に新しいところでは、平成二十八年十月、一宮市の信号のない交差点で、横断歩道を渡ろうとしていた、下校途中の小学四年生の男児を、トラックがはねて死亡させた事故が思い出されます。この事故の問題点は、交差点近くに小学生がいることを認識しながら「渡らないだろう」と決めつけた事と、画面を見ながらゲームの操作を「約三秒」継続した事です。この最も基本的な想像力の欠如と前方注意義務を怠った事により、少年のあるはずの未来と、あるべき人生を奪ってしまったのです。



▲交通安全パレード (11月)

私たちが暮らす南部学区から被害者も加害者も出さないように、皆様が計り知れない悲しみや苦しみを受けないように、これからも交通安全全意識の向上に努めていきましょう。

編集後記

社会教育委員会事務局 太田 信政

今年度も「悠紀の里検定」を全校で実施しました。「六ツ南かるた」や「六ツ南一四選」を基に作られてきた七〇〇問余の問題から、六年生の子供たちがいくつかを選び、今年度の検定問題ができあがります。問題のレベルは二種類。一年生から三年生までは初級に、四年生以上は上級に挑戦します。この「悠紀の里検定」で、子供たちは地域の歴史や文化を楽しみながら学び、親しむことができます。

さて、今年度も社教事務局を担当し、六ツ美南部学区の諸団体の方々に接する機会を多くいただきました。どの方も、学区民の皆様のために創意工夫をし、時間や労力を惜しまず活動されていきました。学校は地域とともにあることで成り立ちます。我がふるさと、我が六ツ南を想う豊かな心が子供たちにも引き継がれていくよう、これからも教育活動を支えていただけたらと思います。

最後になりましたが、本誌の編集にあたり、総代会をはじめ、各団体の皆様には、ご理解、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



*有料で頒布いたします。お問い合わせは、六ツ南小 教頭まで (TEL43-2105)